

奇門遁甲吉方位表2017年

やり方： 「奇門遁甲(きもんとんこう)」は生まれ年関係なく万人に効く方位術になります。
 該当の日にちの該当の時間帯に出発し、該当の方角に移動することによって吉を得ます。やり方は下記の通り。

1	自宅を起点に吉方位に約100km(約2時間)の移動をし、目的地に一泊する
2	一泊できない場合は日帰りでもOKだが、最低4時間以上滞在する。滞在時間が長いほど吉効果も大きい
3	100kmの移動ができない場合、50km程度でもOK。逆に100kmより遠くても可。だが、時盤と日盤の効果がブレンドされて効率よく出るのは100km程度。なので、100kmの移動をおすすめ
4	出発時間は、その方角に向かって大きく動き出す乗り物に乗ったときに合わせる
5	動き出したらなるべく止まらずまっすぐ目的地まで行く。ついだらだらとどまる
6	目的地についたら土地のものを食べ、温泉につかったり神社参りをするとなお吉
7	方位がわからない人は無料サイト「あちこち方位」が便利。方位線の種類は「45/45°」、「偏角を考慮」にチェック
8	一泊する場合、部屋には10時30分には入り、45分には横になる
9	方位の境目は気が乱れるので、なるべく真ん中に近い場所に行く
10	時間の境目も気が乱れるので、真ん中の時間帯を使う(7～9時なら8時)
11	国内でも時差があるので時間を修正すること(下記参照)。例)東京は+19分となるので、出発時間が「9時～11時」の場合、「8時41分～10時41分」となる
12	時盤の効果は小さく数日から10日ほどで出る。日盤の効果は大きく1か月半から2か月後に出る。表の日時に出発すると数日から10日頃に小さいいいことが、1か月半～3か月頃に大きいいいことが起きる。起きる内容は表のとおり
13	通常の旅行は日盤と時盤を組み合わせ使用。月盤は引越しのみで使用する(月盤と日盤の組み合わせでよい日を選ぶ)
14	奇門遁甲で引越しをした場合、引越してから2か月間は毎日23時までには必ず家に帰り、外泊をしないこと。また、奇門遁甲単独での引越しはおすすめしておらず、必ず気学でも吉方位を確認して最低限、年盤と月盤の五黄殺、暗剣殺は避けること
15	宿泊できず日帰りで使用する場合、時盤がよい日を選び50km前後の場所に移動し4時間以上過ごして帰ってくると◎
16	表に記載の時間帯に出発できない場合、時盤の効果を捨てて日盤のみ取りに行くやり方もあり。その場合、必ず100km以上に1泊すること
17	あまり頻繁に使いすぎるのはおすすめでなく、1か月半～2か月に1回程度、大吉方位に行くやり方を推奨します
18	表A欄の「○」「◎」「◎◎」は特におすすめ日。左から右に向かっておすすめ度が高くなる

国内時差

札幌	+25分
仙台	+23分
東京	+19分
新潟	+17分
長野	+13分
静岡	+13分
名古屋	+7分
大阪	+3分
岡山	-5分
広島	-11分
山口	-15分
福岡	-19分
長崎	-21分
那覇	-29分